



令和6年度 高山市立山王小学校 学校経営全体構想

◇学校の教育課題

- ・自分事として向き合おうとする姿
- ・発信し表出する意欲と技能
- ・基礎学力の定着

◇児童の良さ

- ・素直で真面目に取り組む
- ・協調性を大切にする姿

◇学校の教育目標

ひとり歩きができる子
考える子 やさしい子 元気な子

◇育てたい資質・能力

**多様性を尊重し、
願いをもって動く力**

◇高山市 教育の方針と重点

【願い】郷土高山に根ざした心に残る教育を創造する

【方針】郷土高山に根ざし、未来を切り拓くための資質・能力を育む

【重点】挑戦し続けるたくましさの育成

◇合言葉

見つめよう やってみよう

【前期】

1期「教え、学ぶ」(土台づくり)

2期「鍛え、高まる」

【後期】

3期「支え合う」

4期「自ら動く」

考える子

◇学習指導の重点

- 問いを見出す力を育む
- 仲間と共に頭を駆使して考えることによって個の力を育む

学習指導部・研究推進委 ＜具体的取組＞

- ・「なぜ…」 「どのように…」 問いのある課題設定の工夫
- ・教科の見方・考え方を働かせるための意図的な働きかけ

やさしい子

◇生活指導の重点

- 自分、学級によさや課題を見つめる力を養う
- 自分も仲間も大切にする心を養う

生活指導部・特活推進委 ＜具体的取組＞

- ・行事、学級、期ごとのPDCAの位置付け
- ・いじめ未然防止授業
- ・相手意識を育む「どんぐりっ子活動」の推進

元気な子

◇健康安全指導の重点

- 自他の心と体を大切にする
- 安全にかかわる知識・態度を高める

保健安全指導部 ＜具体的取組＞

- ・「廊下や階段を走る子がいない学校」実現のための実態把握と活動
- ・危険予知力を身に付けるための指導と活動
- ・多様な形態での「命を守る訓練」

心が通う職員集団

- ・コミュニケーション（対話）第1主義。職員の相互理解（分かり合い分かち合う）。

働き方改革の推進

- ・ライフワークバランス → 元気な姿で子どもの前に立つ。豊かな経験を語る。
- ・通学における責任と役割分担の明確化を推進し、学校内の業務に専念できる体制を築く。

授業力を高める教員

- ・授業について語り合える職員
- ・日常的に授業を見合う、見せ合う職員集団

生徒指導ができる教員

- ・集団指導ができる先生（はじめ規律、次第に自主性尊重）
- ・個と向き合う先生（困り感に寄り添い、将来を見通す）

いじめから絶対に守る教員

- ・アンテナ高く見逃さない教師
- ・時に、授業より優先
- ・組織対応で、絶対に解決

地域と共にある学校

- ・学校運営協議会の効果的な運用（情報共有→意見交換→協力体制の構築）
- ・地域を最大限に活かすカリキュラムマネジメント（郷土教育・人との交流・総合的な学習の充実）
- ・子供の成長と家庭の教育力を高めるPTA活動